

予算特別委員会 (2/25~3/25) の主な質疑



予算特別委員会

委員会室にディスプレイを導入

今回の予算特別委員会から、ディスプレイを使って質疑を行うことができるようになりました。

写真などの活用により、分かりやすい委員会運営に努めていきます。

審査日程

2月25日(火)	委員会運営
27日(木)、28日(金)	文教関係
3月 3日(月)、4日(火)	厚生関係
5日(水)、6日(木)	建設関係
7日(金)、10日(月)	経済観光環境関係
11日(火)	消防上下水道関係
12日(水)、13日(木)	総務関係
14日(金)	総括質疑
25日(火)	討論・採決

問 (セルフネグレクトとごみ屋敷) 答 学校施設等を活用しクラスを増設するとともに、それが困難な地区では、民間事業者への補助により提供体制を確保する。

問 (セルフネグレクトとごみ屋敷) 答 身の安全や健康が脅かされる状態に陥っていれば行政としても対応を考えなければならぬ課題である。

問 (旧理学部1号館の保存活用) 答 広島象徴的建築物であり被爆建物である。保存活用はいかにするのか。



広島大学旧理学部1号館

問 (依命通達するこの意味は?) 答 この3年間、予算編成の依命通達は内容がほぼ同じだが、なぜか。

問 (依命通達) 答 依命通達は、予算編成作業の留意事項を示しているもので、必ずしも毎年内容が大きく変わるものではない。

問 (民主政治と報復政治) 答 議案に賛成する、しないで態度を変えてはいけぬと思うが、どうか。

答 そのような事実は一切ない。

問 (夜間学級のこれから) 答 社会的背景も変化していく中、夜間学級の2校を統合して分校化を図ることは可能か。

問 (子どもの居場所の確保) 答 留守家庭子ども会の大規模化・過密化の改善のため、具体的にどうするのか。

問 (協同労働モデル事業) 答 高齢者に限定せず幅広い視野で実践的で魅力ある訓練を実施し、自主防

問 (70周年を機にドーム保存基金を) 答 世界に平和を訴えるよい機会なので、先人の努力にならない、募金をしては?

問 (自主防災会競技大会) 答 このようなイベント的な競技大会をする目的はどこにあるのか。

問 (70周年を機にドーム保存基金を) 答 救助資機材や備蓄資材を用いた実践的で魅力ある訓練を実施し、自主防

問 (特区) 答 特区に対応すべく今後の取り組みなどを行い、商店街の負担軽減を図るなどについて聞きたい。

問 (防災意識の高揚) 答 防災意識を高めるにはどのような施策が必要か。

問 (市民が主体的に行動する姿勢を醸成) 答 市民が主体的に行動する姿勢を醸成し、

問 (広島駅南口広場再整備) 答 この事業は地元への理解を得るべきであると思うが、どうか。

問 (安全講習) 答 どうすれば沿線の方々の利便性を確保することができるかについて検討していく必要がある、今後、できるだけ早期に地元の意向にも沿えるような基本方針を決定したい。



広島駅南口広場

問 (快通な自転車走行空間を創るために) 答 安全講習を受講させて自転車通学許可証を交付することで、通学中の自転車マナーの向上を図るものである。

問 (広島駅南口広場再整備) 答 この事業は地元への理解を得るべきであると思うが、どうか。

問 (安全講習) 答 どうすれば沿線の方々の利便性を確保することができるかについて検討していく必要がある、今後、できるだけ早期に地元の意向にも沿えるような基本方針を決定したい。

問 (脱原発社会に向けて再エネへの転換を) 答 国に責任あるエネルギー政策の早期の構築を強く求めてきた。国では、その構築に向け、議論しており、動向を注視したい。

問 (被爆70周年の取り組みは) 答 被爆100周年を見据えた将来志向の「まちづくり先導事業」に込めた思いは?

問 (少子・高齢化、人口減少の中にあっても、中四国地方の中核都市としてあり続けるためのまちづくりの第一歩としたい) 答 公共施設マネジメント計画を作り、トップダウンで進めてほしいが、どうか。

問 (企画総務局がリーダーシップをとり、施設所管局等と十分連携しながら、全庁を挙げて的確に取り組んでいく) 答 企画総務局がリーダーシップをとり、施設所管局等と十分連携しながら、全庁を挙げて的確に取り組んでいく。

問 (持続可能な事業にするために) 答 働く人が自ら出資し、仕事起こしをする「協同労働」に携わる高齢者をどう発掘するのか。

問 (協同労働) プラットフォームによる勉強会や地域ニーズの把握、マッチング等を通じて地域人材の発掘・育成を図る。

問 (2億円の追加徴収に市民は悲鳴) 答 下水道使用料を請求漏れで徴収できなかつた責任を、市はどうするのか。

問 (組織的に点検してこなかつたことを反省し、再発防止策を講じ、二度とこのようなことが起こらないようにする) 答 組織的に点検してこなかつたことを反省し、再発防止策を講じ、二度とこのようなことが起こらないようにする。



問 (小規模保育事業には全員有資格者を) 答 保育士確保のための処遇改善や職員の保育士資格の取得などには、5年の猶予期間が必要である。

問 (小規模保育事業) 答 原則として満3歳未満の乳幼児を保育し、利用定員6〜19人の事業。

問 (潜在保育士) 答 保育士の資格を持っていないが保育士として就労していない者。



問 (住宅用火災警報器の維持管理) 答 定期的な点検や電池の交換など、周知を図る必要があると思うが、どうか。

問 (住宅用火災警報器の維持管理) 答 定期的な点検や電池の交換など、周知を図る必要があると思うが、どうか。

問 (住宅用火災警報器の維持管理) 答 定期的な点検や電池の交換など、周知を図る必要があると思うが、どうか。

問 (住宅用火災警報器の維持管理) 答 定期的な点検や電池の交換など、周知を図る必要があると思うが、どうか。

問 (住宅用火災警報器の維持管理) 答 定期的な点検や電池の交換など、周知を図る必要があると思うが、どうか。

問 (住宅用火災警報器の維持管理) 答 定期的な点検や電池の交換など、周知を図る必要があると思うが、どうか。

※会派名は、2月25日現在のものです。
 ※紙面の都合上、掲載質問数の上限は、各会派の人数案分により決定しています。
 ※質疑の内容は、各会派からの提出によるものです。
 ※質疑・答弁の趣旨を簡潔にまとめているため、実際の発言とは言い回しが異なることがあります。

権が侵害されていること。
 まちづくり先導事業
 被爆70周年を契機に、被爆100周年を見据えて目指すべきまちの姿の骨格を示し、その実現に資する新たな事業等を位置付けて取り組む事業。
 潜在保育士
 保育士の資格を持っていないが保育士として就労していない者。
 小規模保育事業
 原則として満3歳未満の乳幼児を保育し、利用定員6〜19人の事業。